1 チャンネル FM 送受信機セット　　取扱説明書

この度は「1チャンネルFM送受信機セット」をお買い あげいただき誠にありがとうございます。この説明書をよくご覧になり、末永くご愛用頂きますよう、よろしく お願い申し上げます。

■製品内容

送信機	受信機
1 送信機本体	5 受信機本体
2 テストボタン	6 電源スイッチ
3 アクセサリーシュー接点	7 電池室
4 シンクロコード差し込み口	8 パイロットランプ
	9 シンクロコード
	10 フォーンジャック

使用バッテリー
受信機：単4電池×2本（別売）
送信機：**23A 電池内蔵（交換可能）**

使用電波
UHF 300MHz 帯

■操作手順

1

受信機にバッテリー (単 4 電池 2 本) をセットし、電源スイッチを押して電源を入れます (送信機には電源スイッチはありません)。

2

送信機をカメラ上部のアクセサリーシューに差し込みます。アクセサリーシューに接点がない場合、アクセサリーシューそのものがない場合には、付属のシンクロコードでカメラ側のシンクロターミナルに接続してください (レンズシャッターの場合は、レンズにシンクロターミナルが設けられている場合があります)。

3

送信機のテストボタンを押し、受信機の赤いパイロットランプが点滅 (一度だけ) するか確認します。点滅しない場合は、電池残量などをご確認ください。

テストボタン

点滅を確認

4

シャッターを切ると FM 波が発信され、
ストロボにセットした受信機が電波を受けて発光します。

5

ストロボ本体のシンクロソケットに、フォーンジャックを差し込みます

【注意】

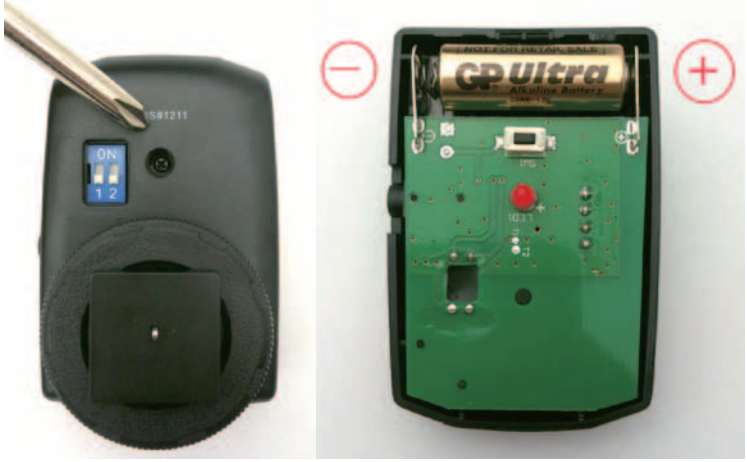
受信機はぶらさげて利用しないでください。必ず添付されているマジックテープで受信機本体を固定して利用するようにしてください。(ぶらさげて利用した場合、受信機とフォーンジャックの接続部分が内部で切断し、受信機が反応しなくなるおそれがあります。)

■本機の特性

● 動作可能距離は 10~15m ですが、電波状況や周囲の環境によって変化します。見通しのよい場所では到達距離が長くなり、遮蔽物がある場合は到達距離が短くなります。 ● まれに、シャッター速度設定ミスなどの原因により、発光しても同調しない場合があります。そのため、本番撮影前には必ずテスト撮影を行ってください。 ● カメラにより状況が異なりますが、原則として X 接点以下でご利用ください。 ● ストロボのシンクロ電圧が高い機材ではご使用になれません。旧型のジェネレーター などをお使いの場合は、特にご注意ください。 ● 12V までの機材のみご利用いただけます。 ● 送信機にシンクロコードを差し込むと到達距離が伸びる場合があります。 ●まれに、他の電波(携帯電話やタクシー無線など)と干渉して誤作動することがあります。その場合はいったん電源を切り、再度オンにすると改善される場合があります。
※受信機の電源を入れる際、送受信機を30cm以内に近づけた状態で入れて下さい。周波数を自動でサーチします。

送信機の電池交換について

送信機の電池は、お客様で交換することが可能です。下記の方法に沿って交換してください。



用意するもの	23A 電池（単 5 電池と同じ形状の 12V 電池）、ドライバ ※電池は 23A 電池（12V）を利用しておりますが、Panasonic 社製 LRV-08 を利用しても動作に問題ありません。

交換方法

ドライバで背面のねじをゆるめて電池ブタを外し、新しい電池を入れて下さい。

※電池の＋と–を間違えないように、注意して入れてください。

Professional Photo Equipment
PROKIZAI.COM